

# 令和4年度 授業アンケート(学生による授業評価) 報告

東海学院大学 教育研究開発センター

東海学院大学では、授業の改善とそれに基づく大学全体の教育の質向上に取り組むため、平成16年度より「学生による授業アンケート」を実施してきました。学期毎に、各教員が担当する科目の学生を対象として、無記名調査を行っています。授業方法に加えて、学生自身の学習への取り組みを評価する調査項目を設けています。

令和4年度は、担当する科目の授業種別毎に、教員が希望する科目を対象として調査を実施しました。前期は授業11週目までに、後期は授業8週目までにそれぞれ調査を行いました。各教員は担当科目への評価結果に基づいて授業改善に取り組み、学期末までに改善活動について振り返り、今後の改善方針を策定しました。

## 授業アンケート回答学生数および回答率

### 【令和4年度前期】

表1 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	91	38.8	83.5%
演習	49	13.2	83.1%
実験・実習	21	26.4	89.2%
全体(計)	161	29.4	84.0%

学生の有効回答数:4,731

表2 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	20	20.9	79.9%
演習	6	20.2	88.3%
実験・実習	2	21.0	84.0%
全体(計)	28	20.7	81.8%

学生の有効回答数:580

### 【令和4年度後期】

表3 専任教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	93	35.4	79.3%
演習	40	16.0	81.7%
実験・実習	14	24.9	89.7%
全体(計)	147	29.1	80.4%

学生の有効回答数:4,283

表4 非常勤教員担当の授業

授業種別	授業数	1授業あたりの回答学生数(平均)	履修者数に対する回答率(平均)
講義	18	30.1	80.2%
演習	8	13.5	72.0%
実験・実習	2	26.0	86.7%
全体(計)	28	25.1	79.2%

学生の有効回答数:702

授業アンケートを実施した科目のうち、専任教員が担当する科目は前期 161 件、後期 147 件でした(表 1, 表 3)。アンケート結果の質問項目別平均によると、前期と後期に同様の傾向が見られました(図 1, 図 2)。回答者は、授業では重要なポイントが示され(質問 3)、授業内容は自分にとって有用性が感じられた(質問 7)、と評価していました。また、回答者は 30 分以上 1 時間未満を予習・復習、レポート作成などに費やしたことがわかり(質問 2)、授業時間外学習の促進について検討が必要です。

## 専任教員担当の質問項目別平均

### 【令和 4 年度前期】

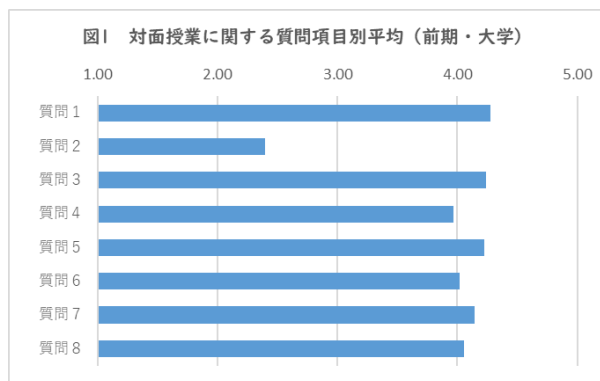


図 1

### 【令和 4 年度後期】

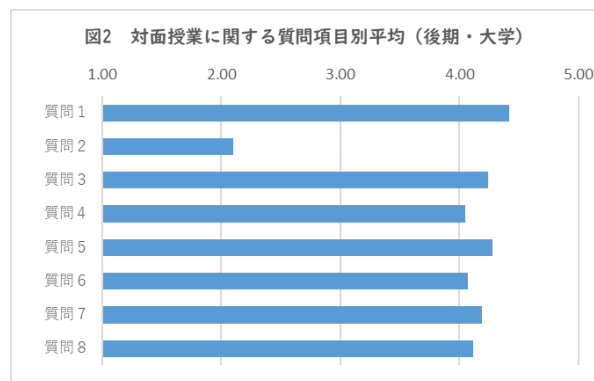


図 2

#### 質問項目 (図 1、図 2)

- 質問1:授業欠席回数
- 質問2:予習復習などに費やした時間
- 質問3:授業で重要ポイントが示されていたか
- 質問4:より学習したいと感じたか
- 質問5:聞き取りやすかったか
- 質問6:質問や意見が述べられやすかったか
- 質問7:授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか
- 質問8:この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問 2 は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。

授業種別に集計した質問項目別平均によると、前期と後期に同様の傾向が見られました(図3, 図4)。質問3から質問8まで、授業種「演習」の平均は他の授業種よりも高いことがわかりました。回答者は、授業が聞き取りやすく(質問5)、質問や意見が述べられやすかった(質問6)と評価していました。授業あたりの回答学生数(表1, 表3)との関連を考慮し、学習効果を高める授業環境について検討が必要です。

## 専任教員担当の授業種別ごとの質問項目別平均

### 【令和4年度前期】

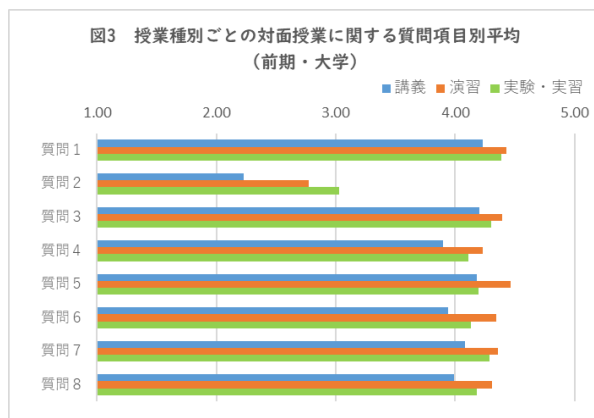


図3

### 【令和4年度後期】

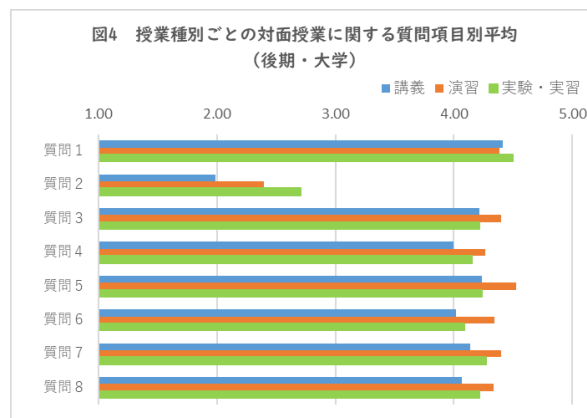


図4

#### 質問項目 (図3、図4)

質問1: 授業欠席回数

質問2: 予習復習などに費やした時間

質問3: 授業で重要ポイントが示されていたか

質問4: より学習したいと感じたか

質問5: 聞き取りやすかったか

質問6: 質問や意見が述べられやすかったか

質問7: 授業内容は、自分にとって、有用性が感じられましたか

質問8: この授業の到達目標を達成できると思いますか

注) 質問1および質問2は欠席回数や学習時間を具体的に示した選択肢を用意した項目である。値の大きい方が望ましい方向(欠席が少ない、学習時間が長い)である。